

【OIE 情報】中国（四川省）における口蹄疫（O 型）の発生について

中国（四川省）における口蹄疫（O 型）の発生について、2016 年 3 月 10 日付けで OIE へ報告がありましたのでお知らせいたします。

出典：OIEウェブサイト（2016年3月10日付け）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=19888
(OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。)

【概要】

- ・発生数：1 件（続報 2）
- ・発生日：2016 年 3 月 2 日
- ・OIE への報告日：2016 年 3 月 10 日
- ・血清型：O 型

【発生状況】

- ・四川省 徳陽市 広漢市のと畜場

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
豚	91	8	0	91	0

【疫学情報】

- ・感染源：不明又は調査中

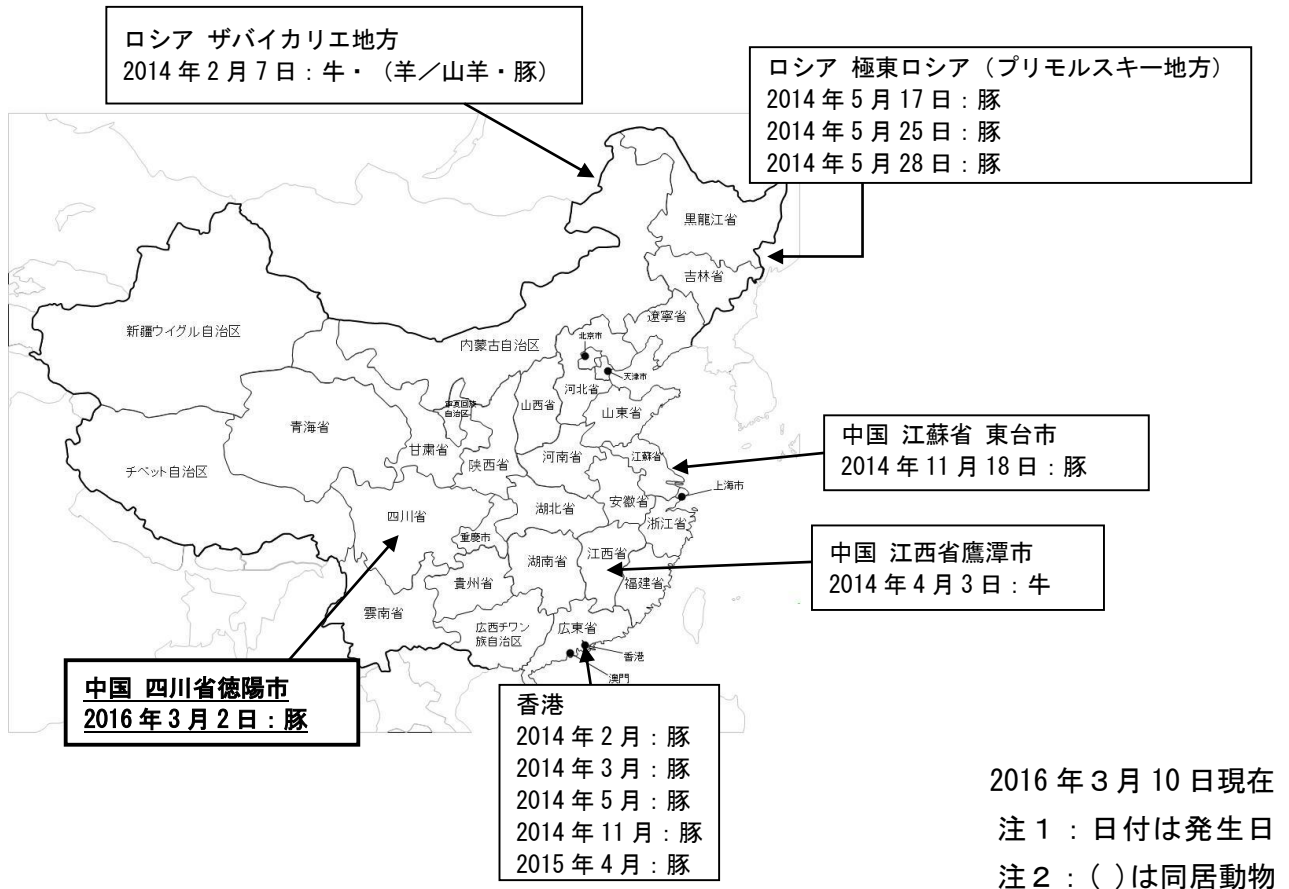
【対応】

- ・国内における移動制限
- ・スクリーニング
- ・施設等の消毒
- ・淘汰
- ・ゾーニング
- ・発生に対応したワクチン接種は実施していない
- ・患畜を治療対象としない

【診断】

- ・診断施設：蘭州獣医学研究所（国立研究所、OIEリファレンスラボラトリー）
- ・診断法：ウイルス分離、RT-PCR（いずれも陽性）
- ・確認日：2016年3月10日

【参考情報】中国、ロシア（極東ロシア、ザバイカリエ地方）、香港における0型口蹄疫の発生状況
(2014年1月～)



（参考1）中国での0型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

全ての豚、牛、羊、ラクダ及び鹿が0型口蹄疫ワクチンの強制接種対象となっている。

（参考2）ロシア（極東ロシア）での0型口蹄疫に関する情報

- ・ OIE 報告によると、ロシア プリモルスキー地方の口蹄疫発生場所は、それぞれ中国国境から 30km 及び 45km に位置し、プリモルスキー地方は口蹄疫ワクチン接種を行う緩衝地域に指定されている。
- ・ 国境地帯に口蹄疫の緩衝地域を設定し、牛及び小型反芻動物に対して、A、0 及び Asia-1 型の混合ワクチンを接種している（ロシア連邦動植物検疫監督局ウェブサイト情報より）。

（参考3）香港での0型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

- ・ 全ての種豚及び 12 週齢以上の豚に対し、4 か月ごとに 0 型口蹄疫ワクチン接種を実施。

（参考情報：口蹄疫に関する中国農業部の対応関連情報）

当省ウェブサイト以下に以下の情報を掲載しています。

- ・ 中国の家畜の伝染病に対するワクチン接種計画について（仮訳）
URL: http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/pdf/china_vaccine.pdf
- ・ 中国の動物伝染病モニタリング・疫学調査計画（仮訳）
URL: http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/pdf/china_survey.pdf